

株式会社富士メガネによるアゼルバイジャン視力支援プロジェクト

5月28日から6日間、アグダム県及びバルダ県において、株式会社富士メガネによるアゼルバイジャンの国内避難民向け視力支援活動が行われました。同社は金井昭雄会長のリーダーシップの下、2005年以来、今年で17回目となるミッションをアゼルバイジャンへ派遣し、約7万組の眼鏡等を寄贈する活動を続けてきました。

今回のミッションでは、約3千3百人の国内避難民等が金井会長率いるミッション一行による検眼を受け、3千本以上の高品質の眼鏡が配布されました。活動期間中には渡辺大使も現場を訪問し、ミッション一行が国内避難民の皆さん一人ひとりの視力検査を行い、眼鏡を寄贈する様子を視察しました。

日本とアゼルバイジャンとの友好関係は、政府間の取組だけではなく、このような企業や団体、個人の高邁な精神による慈善事業によっても強く支えられています。株式会社富士メガネの永年にわたる視力支援活動に深く敬意を表します。

金井会長は、長年にわたり実施してきた「海外難民への視力支援活動」の功績が認められ、日本人で初めて、2006年にナンセン難民賞を受賞されています。

